

エイジフリーお役立ちNEWS

ちよつと一息！介護旅行

保険外サービスの一つである、介護旅行、バリアフリー旅行は専門の旅行会社以外にも、一般の旅行会社でも扱うようになってきています。車いすでの移動、食事、入浴など介助が必要な方でも、専門知識を持つスタッフが同行することで旅行を楽しむことができます。バリアフリー対応の施設も増える中、実際の旅行で、どのようなサービスが受けられるのか、介護旅行、バリアフリー旅行の疑問をまとめました。 ※介護内容や同行者数により料金は異なるため、旅行会社にご確認ください。

情報提供

H.I.S. ユニバーサル
ツーリズムデスク
<https://www.his-barrierfree.com/>
SPI あえる倶楽部
<https://www.aelclub.com/>

介護旅行の疑問を解決Q&A

Q1 介護旅行に参加するには要介護度などの制限がありますか？
要介護度による制限はございません。

ツアーの場合、内容によって介護状況・身体状況の詳細を確認することがあります。また、個人旅行で宿泊先や交通手段の手配のみを行う場合には、必要な情報のみを確認します。

Q2 田舎への帰省をしたいのですが、交通手段と宿泊先の手配だけでもしてもらえますか？
宿泊と介護車両などの交通手段の手配を合わせて行うこともできます。

インターネットなどで全国のバリアフリーの宿の情報が集約されているため、個人で宿を予約することもできます。また、手配旅行や個人旅行を扱う旅行会社に、航空券や宿泊・介護車両などの手配を合わせて依頼することもできます。

Q3 飛行機を利用することはできませんか？その場合、車いすでの移動はどこまで可能でしょうか？
国内であれば格安航空会社も含め飛行機をご利用いただけます。

利用されている車いすの種類にもよりますが、折りたたみ可能な車いすであれば、機内の入り口（ゲート）まではご自身の車いすで移動できます。ゲート以降は、機内の通路が狭いため、機内用の車いすに乗り換えていただきます。また、事前に、チェックインカウンターにて空港の用意する車いすに乗り換えるケースもあります。

ポイント 搭乗手続きの際、通常の車いすでは金属に反応し、不要なボディチェックを受けてしまうケースが多くあります。そこで、木製の車いす（セキュリティチェックにひっかからない車いす）にあらかじめ乗り換えていただくサービスが主流となってきています。

Q4 車いすに乗ったまま新幹線や特急電車に、乗車できますか？
車いすやストレッチャーでも、乗車できます。

JRの新幹線や特急電車など車いす対応の座席・トイレのある列車や、車内移動用車いす、車いすスペースを設けている車両もあります。

また、多目的室が設置されている場合、室内のイスを倒すとベッドにもなります。ストレッチャーを固定できる福祉車両など、寝たきりの方も乗車可能な列車もあります。

ポイント 新幹線の場合、障害者手帳をお持ちの方は、障がい者割引を利用できます。

※車いすで乗車できる列車に関しては、各交通機関、または旅行会社にご確認ください。

Q5 旅行会社にお願する場合は、同行してもらえるスタッフはどのような方ですか？
旅行会社に登録されている、介護知識を持つ専門スタッフです。

ケアマネジャー、介護福祉士、ヘルパーなど介護の現場に携わる方、外出支援の専門知識を持つ方がボランティアまたは、旅行会社のスタッフとして登録しています。介護技術と旅の業務知識をそなえた「外出

ウツ面に続く

▶次回は、「介護認定見直しの際の注意ポイント」を紹介します。

支援」の専門家として「トラベルヘルパー」など新たな資格取得制度も構築されています。

Q6 介護食に対応してもらえない宿泊施設などありますか？

A 介護食に対応する宿泊施設は、まだ少ないものの、少しずつ増えています。

山梨県の富士レークホテルは、通常の介護食以外にも、きざみ食、ミキサー食にも対応していることで、知られています。

Q7 入浴介助が必要な場合でも、温泉に入ることはできますか？

A 機械浴や訪問入浴介護を利用して、さるサービスもあります。

車いすの方にも対応した機械浴ができるリフト付きのお風呂や、地元の介護事業所と連携し、宿泊先で入浴介助を受けることのできる宿泊施設もあります。旅行会社によって対応していない施設もあります。

豆知識
介護食や入浴介助に対応する宿泊施設などの情報について

一部の地域では、ユニバーサルツーリズムセンターといったNPO法人などが運営する「バリアフリー旅行相談窓口」もあります。(神戸市、伊勢市、東京都、伊豆市など) 介護に対応している施設などの情報は各センターにお問い合わせください。
日本バリアフリー観光推進機構
<https://www.barifuri.jp/portal/page/npoc.html>

Q8 夜間も介護を受けられますか？

A 同行する介護スタッフと同室を希望し、夜間の介護を受けることもできます。

同行する介護スタッフと同室にし、夜間の介護を受けることも可能です。夜間の介護については、利用者の心身の状況により、どの程度の介護が必要かを確認します。通常、同室または別室によって料金が異なります。

ポイント

例えば、2時間おきの体位変換が必要な場合は、同行する介護スタッフが2名必要となります。1名が日中の観光に同行し、もう1名が夜間の介助を行うなど、役割分担を行います。

Q9 人工透析が必要でも旅行可能でしょうか？

A 旅行透析を利用すれば可能です。

国内の旅行透析の手配は、利用者が各自で行います。旅行の際は、まずかかりつけ医に相談してください。かかりつけ医の紹介や、インターネットで検索し、旅行先での人工透析に対応している病院などを探し、予約を行います。

もし国内で体調の変化があった場合は、現地病院で専門的な処置を受けられます。

ポイント

医療的ケアの必要な方には、看護師の同行を専門とする旅行会社もあります。(例：看護介護旅行「ニの旅」)
<https://www.nicolatravel.co.jp/>

実例紹介

実例① 要介護1～2 車いす・杖を利用

東京都から滋賀県琵琶湖 2泊3日

目的 ツアー旅行に1名で参加

利用したサービス

新幹線利用、専任添乗員の同行 (介護スタッフの同行も可)

費用 16万8,000円ほど

実例② 要介護1～2 車いす・杖を利用

東京都から奄美大島 3泊4日

目的 ツアー旅行に1名で参加

利用したサービス

飛行機利用、リフト付き車両、車いす専用のマリンリゾートに宿泊、専任添乗員の同行 (介護スタッフの同行も可)

費用 17万8,000円ほど

実例③ 要介護5 マヒあり、歩行不可、常時車いすを利用

神奈川県から山梨県河口湖畔 2泊3日

目的 毎年恒例の家族旅行 (ご本人・息子・娘の3名)

利用したサービス

介護福祉車両、トラベルヘルパー同行、介護食、入浴介助など

費用 25万円ほど

実例④ 要介護2 マヒなし、歩行可能 (移動時車いす利用)

山口県から東京都へ 6日間

目的 お孫さんの結婚式への参加

利用したサービス

介護福祉車両、飛行機、トラベルヘルパー同行、介護食、入浴介助

費用 58万円ほど

*介護旅行、バリアフリー旅行は保険外サービスです。旅行中の介助にかかる料金は全て自費となります。料金は必要な介護の度合いで異なるため、各旅行会社にご確認ください。

▶ 次回は、「介護認定見直しの際の注意ポイント」を紹介します。



パナソニックの
エイジフリー